

授業の概要					
校種	小学校				
授業日時	2014年6月5日～28日	学年	6	教科	総合的な学習の時間
単元名	情報モラルハンドブックをつくらう				
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会におけるルールやマナーがあることを理解し、それらを守ろうとすることができる。</li> <li>・自他の権利を尊重し、他人や社会への影響を考えて行動することができる。</li> <li>・危険な情報や不適切な情報から、身を守る方法と態度が必要なことに気づくことができる。</li> <li>・IDやパスワードの保護、不正使用・不正アクセスの防止について理解することができる。</li> <li>・友だちと協力してハンドブックを作る中で、自分で考え判断する力を高めることができる。</li> </ul>				
単元の流れ	①情報モラルについて調べ、「人をいやな気持ちにさせないために」、「自分が被害にあわないために」の2つの観点から、ポイントをワークシートにまとめる。 ②調べたポイントを全体で確認する。 ③情報モラルについて、ハンドブックを作成することを確認する。 ④学級全体で項目を決め、グループでハンドブックの構成（問題場面・守るべきポイント）を考える。 【マナー、著作権、個人情報、不正アクセス、有害情報、ネット依存】 ⑤構成に基づいて、ハンドブックを作成する。 ⑥グループ間で交流し、よりよいハンドブックになるようにアドバイスを送る。 ⑦みんなからもらったアドバイスを参考にし、ハンドブックを修正する。 ⑧完成したハンドブックを全体で交流する。 ⑨全校児童に紹介するための準備をする。 ⑩全校集会でハンドブックの紹介をする。				
本時の目標	・情報モラルについて調べたことを、自分たちが考えた構成に基づいてハンドブックに表現することができる。				
本時の授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 少人数学習 <input type="checkbox"/> 習熟度別学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習				

ICT活用場面	
授業場所	普通教室
ICT機器活用場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者 <input checked="" type="checkbox"/> ICT支援員 <input type="checkbox"/> 授業作り指導員
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用コンテンツ	<input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> SKYMENU <input type="checkbox"/> Schoology <input checked="" type="checkbox"/> その他
	その他    □イロノート    Keynote
タブレット活用形態	<input type="checkbox"/> 一人一台 <input checked="" type="checkbox"/> 学習班に一台
活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルのそれぞれのポイントについて、問題場面をスライドにしてストーリー化し、守るべきポイントを文章化して加えることで、誰もが興味を持って読めるハンドブックをつくるようにする。</li> <li>・お互いのハンドブックの中で気づいた場面にマーキング機能を使ってアドバイスを送ることで、よりわかりやすく、より伝わりやすいハンドブックになるようにする。</li> </ul>

授業の展開		
学習の流れ	ICT活用場面	ポイント
<p>学習課題をつかむ。</p> <p>前時に引き続き、ハンドブックを作成することを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題場面のストーリー作成</li> <li>・大切なポイントの文章化</li> </ul> <p>ワークシートにまとめた自分たちのグループが伝えたい項目についての問題場面のストーリーを完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マナー ・著作権</li> <li>・個人情報 ・不正アクセス</li> <li>・有害情報 ・ネット依存</li> </ul> <p>問題場面に対する大切なポイントを文章化していく。</p> <p>各グループが作成したハンドブックを個々に読み、情報モラルの大切なポイントと照らし合わせて、気づいたことに対してアドバイスを送る。</p>		<p>前時までに作成した問題場面をいくつか紹介することで、活動の目的を再確認させる。</p> <p>完成した問題場面のストーリーに対して大切なポイントの文章の説明を入れ、ハンドブックを作成させ、iPad上で誰でも読めるようにする。</p> <p>SKYMENUのフォルダに作成したハンドブックを保存し、個々に読み合えるようにする。</p> <p>気づいた点をスクリーンショットして、マーキングでアドバイスを加え、よりわかりやすく、より伝わりやすいハンドブックになるようにする。</p>